

令和 年 月 日

理事長 殿

令和7年度 特定課題研究費研究報告書

研究代表者	所属	荒川キャンパス・一般科	職	助教	氏名	小林雄大
研究分担者	所属		職		氏名	
	所属		職		氏名	
	所属		職		氏名	
研究課題名	中世の『源氏物語』注釈史における古典研究と教養					
	(英文)					
研究種目						
研究実績の概要						
本研究は、平安時代末期から中世までの『源氏物語』注釈書として、とりわけ、『源氏積』、『源氏物語奥入』、『河海抄』に注目し、これらのなかで、どのように『源氏物語』が読まれているのかを具体的に明らかにし、それを、現代の国語教育に生かしてゆこうとするものである。 平安期および中世の『源氏物語』注釈書には、物語の内容を理解するためだけでなく、物語の表現を踏まえた和歌実作のために、『源氏物語』を読み込んでいた姿が窺える。これは、当時の教養（社会を生きてゆくための手段）を物語という虚構から学ぼうとする姿勢、つまり、物語内から外に向かうような研究態度と言える。しかし、そのような注は、『源氏物語奥入』や現代の主要な『源氏物語』注釈書（『新編全集』等）では、疑念が示される、あるいは、批判される傾向にある。以上のことを明らかにし、博士論文の一部としてまとめた。 また、上記のような平安期および中世の源氏研究の態度を踏まえて、授業内では、「オマージュ」を扱った。これは、既存の作品を生かして新たな作品を作り上げてゆく作業と言えるが、『源氏物語』、『竹取物語』を授業内で扱った際には、現代の音楽、アニメ、小説等のなかに、上記の古典の表現、場面、内容が、どのように反映されているのかを説明し、古典と現代作品との間に壁を作らせないように心がけた。古典と現代の生活とに接点を見出してゆく国語教育を遂行した。						
研究発表（論文、著書、講演等）						
・「『源氏積』の基礎的研究」（学位請求論文公开发表会、筑波大学、2026年1月22日）						
その他（教育活動・OPCへの貢献、特許等）						
・博士（文学）の取得（2026年3月31日） ・国文学研究資料館2026年度共同研究（一般・研究共同者）の採択（2025年12月2日）						